

様式第1号（第5条関係）

会 議 概 要

会 議 の 名 称	平成27年久喜市教育委員会第12回定例委員会
開 催 年 月 日	平成27年10月26日（月曜日）
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後1時30分から午後2時25分まで
開 催 場 所	菖蒲コミュニティセンター 第5集会室
議 長 氏 名	柿沼光夫教育長
出席委員等氏名	柿沼光夫教育長、鹿児島金衛、榎本英明、坪井喜代子、狩野和也各委員
欠席委員等氏名	なし
説明者の職氏名	柿沼教育長、関根教育部長及び各担当課長
事務局職員氏名	関根教育部長、松本教育副部長兼教育総務課長、末田参事兼指導課長、宮内参事兼生涯学習課長、奥谷参事兼中央公民館長、赤岩学務課長、堀内文化財保護課長、太田中央図書館長、甲田教育総務課総務係長、小室教育総務課主事
会 議 次 第 及 び 結 果	<p>(1) 署名委員の指名 書記の指名 会議時間の決定</p> <p>(2) 前回会議録の承認</p> <p>(3) 教育長報告</p> <p>ア 平成27年9月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について</p> <p>イ 久喜市教育委員会表彰について</p> <p>ウ 久喜市教育活動指導員等の委嘱について</p> <p>エ 平成27年度全国及び埼玉県の学力・学習状況調査に関する結果の概要・分析について</p> <p>(4) その他 次回定例委員会について</p>
配 付 資 料	教育長報告書、教育長追加報告書
会議の公開・非公開	一部非公開（人事案件のため）
傍 聴 人 数	0人

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
柿沼教育長	<p>【開会の宣言】</p> <p>皆さん、こんにちは。すっかり冬近しという季節となりました。このところは、土、日がイベント続きで、市民体育祭、文化祭、また学校では研究発表会ということで市内各地区で華やかに開催されております。昨日、市民体育祭が菖蒲地区と青葉地区であったんですけど、昨日はすごい強風でありまして、実行委員会、主催をいただいた方々には大変ご苦勞をお掛けしたと思っております。また、委員の皆様には、いろいろな大会にご参加をいただきましてありがとうございます。</p> <p>それでは、早速ではありますが、はじめさせていただきます。ただ今の出席者は、委員4名と私を含め5名であります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の会議開催の規定でございます、教育長及び在任委員の過半数の出席要件を満たしておりますので、これより平成27年久喜市教育委員会第12回定例委員会を開会いたします。</p>
柿沼教育長	<p>【開議の宣告】</p> <p>これより直ちに本日の会議を開きます。</p>
柿沼教育長	<p>【議事日程の報告】</p> <p>本日の議事日程につきましては、当初、3件の教育長報告を予定しておりましたが、1件の追加報告がありますことから、本日の日程にこれを追加したいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と言う人あり〕</p>
柿沼教育長	<p>異議なしと認めます。それでは、「教育長報告エ 平成27年度全国及び埼玉県の学力・学習状況調査に関する結果の概要・分析について」を本日の日程に追加し、後ほどご報告いたします。</p>
柿沼教育長	<p>【会議録署名委員の指名】</p> <p>日程第1、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、久喜市教育委員会会議規則第22条第2項の規定により、教育長において指名させていただきます。本日は、坪井委員と狩野委員にお願いいたします。よろしく申し上げます。</p>
柿沼教育長	<p>【会議録作成者の指名】</p> <p>会議録作成者は、教育総務課、小室主事に申し上げます。</p>
柿沼教育長	<p>【会議時間の決定】</p> <p>会議時間につきましては、本日の日程がすべて終了するまでといたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
柿沼教育長	<p>〔「異議なし」と言う人あり〕</p> <p>異議なしと認めます。よって、本日の日程がすべて終了するまでといたします。</p>
柿沼教育長	<p>【前回会議録の承認】</p> <p>日程第2、前回会議録の承認を求めます。平成27年9月25日に開催いたしました、第11回定例委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の先生方のお手元に配付したとおりでございます。お手元の会議録にご異議ございませんでしょうか。</p>
柿沼教育長	<p>〔「異議なし」と言う人あり〕</p> <p>異議なしと認めます。よって、前回の会議録につきましては、ご承認をいただきました。</p>
柿沼教育長	<p>【教育長報告】</p> <p>日程第3、教育長報告でございます。報告事項につきましては、お手元の日程の ア から ウ と、先ほど追加いたしました エ の合計4件でございます。</p>
柿沼教育長	<p>まず始めに、「ア 平成27年9月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）について」の報告でございます。報告の内容につきましては、教育部長よりご説明いたします。</p>
柿沼教育長	<p>教育部長。</p>
教育部長	<p>それでは、教育長報告アでございます。平成27年9月定例議会市政に対する質問（教育委員会関係）につきましてご説明を申し上げます。</p> <p>今回、質問をされた議員さんは、全員で21名でございます。このうち、教育委員会に関する質問は13名の方からいただきました。その中で主なものにつきまして説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、報告の1ページをご覧ください。まず最初に、1番で平沢健一郎議員でございます。こちらの質問につきましては、通学路の交通安全対策に関しまして、通学路で信号機のない横断歩道の安全対策に関するご質問でございます。内容につきましては、ご覧のとおりでございます。</p> <p>次に、2人目でございます。1ページから2ページにかけてでございますが、丹野郁夫議員でございます。内容につきましては、人口減少問題に対応するための幼児教育の充実に関しまして、幼児教育の無償化への市独自施策として、第3子以降の無料化及び現在の市立幼稚園を2年保育から3年保育としてはどうかという2点に関する質問でございます。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
<p>教育部長</p>	<p>答弁といたしましては、1点目につきましては、平成27年4月からスタートした子ども・子育て支援新制度で、新制度に移行した私立幼稚園や認定こども園は、2人目は半額、3人目以降は無料となっております。新制度に移行していない私立幼稚園につきましても、2人目は所得に応じて、3人目は所得にかかわらず就園奨励費補助金を交付しており、3人目でございますけれども、実質的には無料となっておりますところでございます。市立幼稚園の保育料につきましては、幼稚園保育料等検討委員会において、現在審議をしている最中でございます。併せて検討していく旨の答弁でございます。</p> <p>2点目に関しましては、県内の公立幼稚園においては、現状では2年保育が多数である。私立幼稚園と市立幼稚園がそれぞれ特色を出しながら、幼児教育の充実を図ることが望ましく、今後慎重に検討する旨、答弁してございます。</p> <p>次に、3人目でございます。3ページをお願いしたいと思います。斉藤広子議員でございます。質問につきましては、AED（自動体外式除細動器）の利便性の向上についての質問でございます。答弁につきましては、ご覧のとおりでございます。</p> <p>続きまして、4人目、春山千明議員、3ページから5ページにわたります質問でございます。この中で最初の大項目2といたしまして、学校給食の牛乳パックの処理方法についてのご質問でございます。現在の各校の牛乳パックの処理方法について、また平成28年4月から牛乳パックの処理方法がどのようになるのか、また、久喜市としては対応をどのように検討しているのか、最後に各学校の負担が増える可能性がある場合の負担を最小限とする対応の考えはということで、4点にわたり質問をいただきました。</p> <p>答弁といたしましては、1点目は、現在リサイクルのため、洗浄等を行ったものを一時保管し、乳業者が定期的に回収をしている。</p> <p>2点目は、これまで牛乳パックの処理について、乳業者による処理も可能とされていたが、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、農林水産省及び埼玉県から、乳業者による処理が可能とされていた従来の通知の廃止が示された。廃止時期については、現在のところ具体的な時期は示されていない。本市においても、処理方法について検討を行っている。</p> <p>3点目の答弁でございます。清掃センターで資源ごみとして処理する方法、また民間リサイクル業者が回収する方法等が考えられますが、県や近隣自治体と情報交換を行いながら検討したい。</p> <p>4点目の答弁では、学校とも協議をしながら、学校現場に負担が少ない方法を検討し、決定したい旨、答弁をいたしました。</p> <p>続きまして、大項目3といたしまして、全国及び埼玉県の学力・学習状況調査の実施後の対応及び公表についてでございます。学力テストの結果の検証と活用について、学力テストの結果公表の仕方の検討経緯について、また公表時は久喜市のホームページのトップページに載せるべきではとの3点のご質問をいただいたところでございます。</p> <p>答弁につきましては、1点目につきましては、児童生徒の学力や学習に対する取り組み状況を分析、把握し、教育施策の成果と課題を検証するとともに、各学校においては、教員の学習指導の工夫、改善、学校と家庭の連携に生かすことが重要と考えている。指導内容や指導方法の改善を図るための研修会の実施や、保護者と分析結果や今後の対策を共有し、学校と家庭が連携し児童生徒の学力向上に結びつく指導に生かしていく。</p> <p>2点目の答弁では、平成26年度は文部科学省の実施要領をもとに、教育委員会と校長会が協議し、学校では保護者に対し自校の調査結果、検証結果、今後の方策を説明し、教育委員会では、市内小中学校の調査結果等を公表した。平成27年度についても、同様に公表をする。</p>

審議会等会議録

発言者	会議のてん末・概要
教育部長	<p>3点目の答弁では、平成26年度と同様に久喜市ホームページで公表し、公表当初はトップページの新着情報に掲載していく旨、答弁をいたしました。</p> <p>次に、5人目の田中勝議員でございます。6ページをお願いいたします。質問につきましては、水と緑の田園都市構想についての質問の中で、しらさぎ公園内の野外ステージを、音楽のまちとして活用してはとの質問でございます。答弁につきましては、ご覧いただいたとおりでございます。</p> <p>続きまして、6人目、平間益美議員です。6ページから8ページにつきまして、まず教科書採択展示会場の決定についての質問でございます。答弁につきましては、ご覧のとおりでございます。</p> <p>2点目が道路交通法改正に伴う自転車運転について、その指導に関する質問でございます。ご覧のとおりのお答えとなっております。</p> <p>続きまして、8ページから9ページ、園部茂雄議員でございます。質問につきましては、小中学校のエアコン設置についての質問でございます。答弁につきましては、ご覧のとおりでございます。</p> <p>続きまして、8人目、成田ルミ子議員、9ページから12ページでございます。質問につきましては、学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協議についてのご質問でございます。内容でございますが、若い世代の教員と地域とのかかわりについての考え、小中一貫校としての太東学園の説明の今後について、またコミュニティ・スクール・フォーラムを各学校の先生方の研修として開催してはどうか、最後に久喜市生涯学習推進大会、まなびすとフォーラムの教職員の参加が少ないかとかの4点についての質問でございます。</p> <p>答弁といたしましては、1点目につきまして、若い教員に限らず、地域とかがわろうとする姿勢は、地域とともにある学校を創る上でも重要である。初任者教員の研修などで、久喜市に対する理解を深める取り組みを行っているが、若い教員の地域とのかかわりはまだ少ないのが現状である。今後、校長会等を通じて、地域への理解や連携を深められるよう働きかけていく。</p> <p>2点目につきましては、太東学園は、久喜東小学校、太田小学校、太東中学校の小中一貫教育を推進していく上での名称である。学校だよりや保護者会、フォーラムを通じて保護者や地域に説明をしているところであり、今後も丁寧な説明をするように各学校に伝える。</p> <p>3点目につきましては、フォーラムを市内各校で開催することは、地域とともにある学校を創る上で有効な手段であり、研修的な役割を十分に担えると認識をしている。他の学校においても、このような機会を設定できるよう、校長会等を通じ情報提供をしていく。今後もコミュニティ・スクールや小中一貫教育を推進し、久喜市の教育を充実させていく。</p> <p>4点目につきましては、まなびすとフォーラムにおいて、教職員が様々な立場の方と意見交換を行うことは有意義であり、今後も参加を呼びかけていく旨、答弁をさせていただきました。</p> <p>9人目でございます。石田利春議員でございます。12ページをお開きいただきたいと思います。地域の歴史を活用した観光交流施設「栗橋関所」の復元を考えるべきとの質問でございます。答弁につきましては、ご覧のとおりでございます。</p> <p>続きまして、猪股和雄議員、13ページでございます。市の所蔵する美術品の市民への公開を積極的に進めるべきとの質問でございます。答弁につきましては、ご覧のとおりでございます。</p> <p>11人目、戸ヶ崎博議員、13ページから14ページでございます。質問につきましては、学校の魅力化の推進についての質問でございます。ご覧のとおりのお答えをいたしました。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
<p>教育部長</p>	<p>続きまして、12人目、貴志信智議員、14ページから17ページでございます。こちらの議員からは、大項目の2といたしまして、スーパーコンピューター「菖蒲」と菖蒲地区のコラボレーションについての質問でございます。答弁は、ご覧のとおりでございます。</p> <p>大項目4といたしまして、メールの活用について、各種事業、イベントの申し込み方法に関する質問でございます。答弁につきましては、ご覧のとおりでございます。</p> <p>続きまして、17ページから20ページ、大谷和子議員でございます。まず、大項目2といたしまして、子どもの読書活動推進についての質問でございます。内容につきましては、市立図書館のひとつを子どもの読書活動推進に特化した拠点図書館にできないか。また、学校のインターネットを使わない「調べ学習」の実践について。最後は、ブックスタートの一層の充実についてとの3点にわたる質問でございます。</p> <p>答弁につきましては、1点目につきましては、市立図書館に子どもの読書活動に特化した機能を設けることは、専門性や施設的な面から難しいが、県立図書館と連携を図り、子どもの読書活動のさらなる推進に努める。</p> <p>2点目では、保護者による図書ボランティアの協力のもと、調べやすい図書室の環境整備や市立図書館の司書が学校に訪問し、テーマ別の図書の紹介をするなどを行っている。今後も子供たちが主体的に学び、必要な情報を自ら収集し活用できる「調べ学習」の環境整備を推進していく。</p> <p>最後の3点目でございます。現在、市内全地区において、4か月児健診の際にブックスタートを実施しており、会場で職員やボランティアにより親子と個別に向き合い、読み聞かせを実施している。ブックスタートを契機に読書の習慣が身につくよう、さらなる充実に努める旨、答弁いたしました。</p> <p>次に、大項目3といたしまして、スマートフォンの普及と現実の人間関係の希薄化についてのご質問でございます。内容は、スマホ依存などにより、バーチャルな人間関係が肥大化し、現実の人間関係は希薄化しているという問題への取り組みについての質問でございます。</p> <p>答弁といたしまして、スマホ依存などによる自尊心や自己肯定感と学力の関係について、全国学力・学習状況調査の結果から相関関係があることがわかっており、各学校においては児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育む指導を行っている。また、先に開催した久喜市中学生サミットにおいて共同宣言の中で、大切なことはスマホではなく、直接相手に伝えることなどが確認をされました。今後も相手の顔を見てコミュニケーションを図る大切さの指導や、家庭や地域と連携し、自己肯定感や自己有用感だけでなく、他者にも思いを及ぼせ、学力をしっかりと身につけた児童生徒の育成に努める旨、答弁をいたしました。</p> <p>以上が平成27年9月議会で行われました一般質問とそれらへの答弁の概要でございます。よろしくお願いたします。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>それでは、ただいまの報告に対しましてご質問がありましたら、お受けをいたしたいと思っております。 鹿児島委員。</p>
<p>鹿児島教育長 職務代理者</p>	<p>大谷議員のスマホの質問があったのですけれども、久喜市の中学2年生で53.8%、小学校6年生で15.8%、この調査で何か課題はありますか。学校からは特には聞いていないですか。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
柿沼教育長	参事兼指導課長。
参事兼指導課長	このスマホの活用については、やはり依存し過ぎて、それに集中することによって、ほかの活動がおろそかになるといった話は聞いておりますけれども、スマホや携帯の使用の仕方については、各学校で指導していかなければいけないということで、指導に取り組んでいるところです。細かい課題については、一般的なことでは把握しております。
柿沼教育長	はい、鹿児島委員。
鹿児島教育長 職務代理者	今、ラインというのが問題になっていますね。高校生が自殺までするというようになりかなり深刻なようですが、その辺については中学生だから、まだラインはやっていないと思うのですが、どうでしょうか。
参事兼指導課長	やっています。
鹿児島教育長 職務代理者	そうすると、学校がそういうのを把握して、指導しているということですか。
柿沼教育長	これについては、この答弁の中にもあるのですが、昨年度、スマホや携帯の上手な使い方として、学校の延長なんですけれど、やっぱり家庭の協力を得ないと、なかなか指導し切れないということで、家庭でルールを作るようにとお願いをしました。特にラインは、今、話に出ましたけれども、使い方によってははじめの温床になるなど非常に問題を引き起こします。
鹿児島教育長 職務代理者	親も把握するのは難しいと思いますね。
柿沼教育長	ほかにありませんか。 坪井委員。
坪井委員	太東学園のことなんですけれども、これは小中一貫校ではなくて、その前提のような形での考え方で進められているものなのではないでしょうか。それとも、今後は小中一貫教育を目指すような方向に持っていくお考えがあるのでしょうか。
柿沼教育長	参事兼指導課長。

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
参事兼指導課長	<p>成田議員のご質問で、小中一貫校という名前が出ておりますけれども、これは議員さんにご説明しまして、これは小中一貫校ではなくて、小中一貫教育を進めるということで、今、各中学校区ごとに9年間を見通したカリキュラムを作成し、子供たちの教育をしていくということで進めていると、お話をしております。ですから、小中一貫教育を今後進めていくということでご理解いただいております。</p> <p>ただ、小中一貫校につきましては、まだそういった動きはないということでご理解いただければと思います。</p>
柿沼教育長	<p>よろしいですか。</p>
坪井委員	<p>はい。</p>
柿沼教育長	<p>ほかにありますでしょうか。 榎本委員。</p>
榎本委員	<p>自転車の運転について、運転のスタントマンをお呼びするなど、運転のマナーといったケアはしていただいていると思うんですけども、自転車の保険、要は通学に使うときにもし事故が起きてしまった場合の保険というのは、どういう指導をしているのでしょうか。</p>
柿沼教育長	<p>参事兼指導課長。</p>
参事兼指導課長	<p>今は、自転車も車両として加害者になり得るということで、もし事故が起きた場合には責任が当然問われるということで、各学校で子どもたちの指導を行っています。ただし、保険について、全ての児童生徒が入っているかどうかについては、データは確認していませんけれども、ただ加害者になり得るということで、子どもたちの保護者への指導はしております。</p>
榎本委員	<p>一般的に勤めている方は、通勤に使っているときは労災、そうでないときは保険ということで、結構分かれると思うんですけども、子どもも先ほど言ったように加害者になる可能性が大いにあるので、その辺が高額な保険というか補償金もあるようなので、その辺をちょっと指導していただければと思います。</p>
柿沼教育長	<p>保険に入るようにということは、勧めてはいます。 この自転車保険は、今話したように基本的には加害者です。加害者になったときには、今まで賠償金が3,000万円とか、亡くなった場合は何億とかという金額が出てしまいますので。</p>
榎本委員	<p>親にそれが来るということが、この間、裁判で出ていましたけれども。</p>
柿沼教育長	<p>P T Aでも何かずっと検討していたようです。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
榎本委員	<p>そんな高額な保険料ではないんですよ。だから、ちょっと学校でも指導したほうがいいのかなと思います。販売店では、恐らく自転車を販売したときには保険を掛けると思うのですけれども、意外と今は自転車も誰々のお譲りとかで、車もそうですが、新品で買うときには、自転車屋さんもシールとかでできるのですけれども、すごく気軽に乗っていると思うので、自転車に乗ると起こったりするものですから、ぜひ指導のほどお願いします。</p>
柿沼教育長	<p>ほかにありますでしょうか。 狩野委員。</p>
狩野委員	<p>先ほどのスマホのことなのですが、スマートフォンが影響してのトラブルの話が上がってくるのが、今までにこちらにあるのかどうかを教えてください。また、あるとしたら、年間どれくらい上がってくるのかも教えていただければと思います。</p>
柿沼教育長	<p>参事兼指導課長。</p>
参事兼指導課長	<p>スマートフォン、ライン等で、先ほどもお話ししましたように、子どもたちの所持率はかなり高い数値となっております。子どもたちが使う頻度も高いということで、ただいまご質問がありましたような子ども同士のトラブルというものは何件かございます。特に、全てそれらの子ども同士のトラブルについて、私どもが把握しているところではないのですが、ただ実際に学校で人間関係で難しくなったということで、それに対する指導が必要になったという報告は受けております。</p>
柿沼教育長	<p>ライン等については、いじめに関する調査でも出てきますし、機能として、一遍に送ってしまうものですから、そういうので問題になっていると思いますね。</p>
柿沼教育長	<p>ほかにありますでしょうか。 〔「ありません」と言う人あり〕</p>
柿沼教育長	<p>それでは、質問を打ち切りたいと思います。 【会議の非公開】</p>
柿沼教育長	<p>次の教育長報告 イ と ウ につきましては、いずれも人事案件であることから、会議を公開しないこととさせていただきたいと存じますが、いかがでしょうか。 〔「異議なし」と言う人あり〕</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
柿沼教育長	<p>異議なしと認めます。よって、これより会議を非公開とさせていただきます。</p> <p>〔これより非公開とする〕</p>
柿沼教育長	<p>暫時休憩いたします。</p> <p>〔休 憩〕</p> <p>〔再 開〕</p>
柿沼教育長	再開いたします。
柿沼教育長	<p>それでは、「イ 久喜市教育委員会表彰について」の報告でございます。</p> <p>報告の内容につきましては、教育総務課長よりご説明いたします。</p> <p>〔非公開案件につき省略〕</p>
柿沼教育長	<p>続きまして、「ウ 久喜市教育活動指導員等の委嘱について」の報告でございます。</p> <p>報告の内容につきましては、指導課長よりご説明いたします。</p> <p>〔非公開案件につき省略〕</p>
柿沼教育長	<p>これをもちまして、会議の非公開を解きます。</p> <p>〔非公開を解く〕</p>
柿沼教育長	<p>暫時休憩いたします。</p> <p>〔休 憩〕</p> <p>〔再 開〕</p>
柿沼教育長	再開いたします。
柿沼教育長	<p>続きまして、「エ 平成27年度全国及び埼玉県の学力・学習状況調査に関する結果の概要・分析について」の報告でございます。</p> <p>報告の内容につきましては、指導課長よりご説明いたします。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
<p>柿沼教育長</p> <p>参事兼指導課長</p>	<p>参事兼指導課長。</p> <p>平成27年度全国及び埼玉県の学力・学習状況調査に関する結果の概要・分析についてでございます。</p> <p>全国及び埼玉県の学力・学習状況調査につきましては、児童生徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行われるものでございます。</p> <p>平成27年度全国学力・学習状況調査結果の速報値につきましては、先月9月25日に開催されました第11回定例委員会において報告させていただいたところでございます。このたび、久喜市教育委員会といたしまして、本市児童生徒の学力・学習状況調査に関する結果の概要・分析について取りまとめましたので、別紙のとおり報告させていただきます。</p> <p>まず初めに、平成27年度全国学力・学習状況調査における久喜市教育委員会調査結果概要でございます。教育長追加報告書1ページから4ページをご覧ください。まず、教科に関する調査結果でございます。小学校につきましては、1ページ、中学校につきましては、2ページに掲載しております。小中学校別に報告させていただきます。</p> <p>小学校につきましては、国語A・B、算数A・B、理科、ともに正答率は全て全国、埼玉県の平均値を上回っております。領域等の区分の正答率を比較しますと、本市の児童は全国とでは18領域中12領域が全国平均を上回り、埼玉県では18領域中全ての領域が県平均を上回っております。細かい数値につきましては、1ページのとおりでございます。</p> <p>中学校につきましては、国語A・B、数学A・B、理科の正答率は県平均を全ての教科で上回っておりますが、全国平均と比較しますと、全て下回る結果となりました。領域等の区分の正答率を比較いたしますと、本市の生徒は全国とでは19領域中5領域が全国平均を上回り、埼玉県とでは13領域が県平均を上回っております。細かい数値につきましては、2ページのとおりでございます。</p> <p>次に、児童生徒質問紙調査でございます。質問項目は87項目でございましたが、埼玉県の抜粋に従い13項目を掲載いたしました。各項目とも、「している」、「どちらかといえばしている」を合わせた数値でございます。</p> <p>小学校につきましては、3ページのとおり、全ての質問事項において、全国、埼玉県より高い数値が出ております。中学生につきましては、4ページのとおり、13項目中7項目が全国平均より高い数値となり、6項目が埼玉県平均より高い数値となりました。詳細につきましては、3ページ、4ページをご覧ください。</p> <p>6ページから13ページには、各教科について、結果、成果と課題、指導改善のポイント並びに質問紙調査について、成果が見られる面、課題のある点、学力テストとのクロス集計、指導改善のポイントについて掲載いたしました。詳しくは、6ページから13ページをご覧ください。</p> <p>続きまして、14ページから16ページには、平成27年度埼玉県学力・学習状況調査結果でございます。それでは、国語、算数・数学、英語の教科別に報告をさせていただきます。</p>

審議会等会議録

発言者	会議のてん末・概要
参事兼指導課長	<p>初めに、国語の正答率でございます。小学校4年生から中学校3年生まで全ての学年、領域において、県平均を上回っております。次に、算数・数学の正答率でございます。小学生につきましては、小学5年生の「図形」を除き、全ての学年、領域において県平均を上回っております。また、中学生では、中学1年、3年生につきましては、中学1年生の「量と測定」を除き、全ての学年、領域において県平均を上回っております。一方、中学2年生につきましては、8領域中7領域が県平均を下回る結果となりました。次に、英語の正答率でございます。中学2年生、3年生とも、全ての学年、領域において県平均を上回っております。</p> <p>また、それぞれの教科につきまして、調査の結果から見てきた児童生徒の様子、課題が見られる内容について掲載いたしました。続きまして、調査結果の分析、重点課題、目標、今後の方策等について概要を報告させていただきます。初めに、全体的に見た本市の児童生徒の学力・学習状況調査の分析結果でございます。小学生は、おおむね学力が身についております。中学生は、全国平均正答率を若干下回る結果でございます。国語B、算数Bの活用に関する部分と理科について、課題が見受けられます。質問紙調査から、小学生は生活習慣、学習習慣が身に付き、学習意欲も高いこと、中学生は生活習慣、学習習慣は身に付いているが、「学校の規則を守っている」、「人の気持ちがわかるようになりたい」は、全国の平均値を若干下回っていること、国語、理科の学習意欲が若干下回っていることがわかります。</p> <p>次に、重点課題と目標についてでございます。重点課題は、中学校における国語、数学、理科、特に国語A、数学B、理科については、無回答率が全国平均より高い設問が半数以上あることです。目標といたしましては、下位層の児童生徒が諦めずに回答に取り組めるように、要領、ポイント等について指導すること、中学校の数学の授業力、学習指導の改善を含めた授業力を高めることとでございます。</p> <p>今後の主な対策といたしまして、主な内容を報告させていただきます。初めに、指導主事が各学校を訪問し、学力向上の取り組みについて意見交換を行います。この意見交換に基づき、各学校は学力向上プランを加筆・修正し、再提出いたします。また、全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査結果の分析について、久喜市ホームページに公表いたします。同様に各学校におきましても、保護者等に結果の分析について公表いたします。さらに、学力向上分析委員会を組織し、課題のある過去の設問を整理し、まとめます。本年度は数学といたします。そして、各学校は過去5年間の全国調査の設問を吟味し、回答率の低い内容を整理し、その関連する内容を各単元の学習に活用し、学習内容の習得に努めます。さらに、各学校では、小学5年生、中学2年生の全児童生徒を対象に、無回答率が高かった設問で学習内容の習得状況を検証いたします。</p> <p>今後、各学校では、市教育委員会の分析結果を参考に、学校の実態に応じた分析を行い、保護者と分析結果や今後の方策を共有することで、学校と家庭が連携し、児童生徒の学力向上に結びつく指導に生かしてまいりたいと考えております。</p> <p>以上、平成27年度全国及び埼玉県の学力・学習状況調査に関する結果の概要・分析についてでございます。よろしくお願いいたします。</p>
柿沼教育長	<p>それでは、ただ今の報告に対しまして、ご質問をお受けいたします。</p> <p>。鹿児島委員。</p>

審議会等会議録

発言者	会議のてん末・概要
鹿児島教育長 職務代理者	<p>非常に良い結果が出ていると思うんですね。小学校は特にね。中学校ももうちょっとあれかなと思いますが、結構良いという感じがします。ただ、ちょっと見ると、例えば、中学校の場合では、B問題、活用の問題、国語のBとか、数学Bとか、全国平均並みだけれども、全国よりも低いんで、埼玉県はもっと低いですが、今後活用というのは、やはり課題になるので、基礎の問題のAももちろん大事だけれども、活用、これからの社会はそういうのを求められるでしょうから、そういうのが身に付くような授業の改善を、学校で研究することが大事なのかなと思います。</p> <p>それから、今、説明を聞いていて、教育委員会の姿勢とか方向とか、取り組みは非常に素晴らしいと思います。きちんと分析していますね。問題は、学校なんですよ。今聞いてみますと、学校が分析して反省しないと意味がないと感じます。でも、やっていると思いますので、意見交換もやっているし、それからまたさらに取り組みをしていただきたい。そして教育委員会が話すということだから、良いと思わうんですけれども、学校の先生方が自分の学校の子どもの実態を把握するということ、これに尽きるんですよ。教育委員会に言われたからやるのではなくて、学校は、子どもの学力をつけるのは学校の生命線なんだと、大事なことなんだと感じてほしいです。ただ、余りそればかり気になってはだめだけれども、そういうことですね。</p> <p>それから、もう一つは、学校だけでは不十分なんですよ。保護者、家庭の協力が大事ですね。やはり、秋田県などを見ていると、地域と学校、特に家庭の協力が大きいんですよ。だから、こういう結果をPTAとか保護者会などで、よく親に学校も伝えて、直接伝えて、ホームページだけではなくて言葉で伝えて、こういうふうにするといいのではないですかねということ、やはり親の協力ももらうことが必要です。学力向上は子どもの将来につながることで、家庭の協力というものが大事であって、これだけ教育委員会でしっかりやっけていて、学校も取り組んでいるのであれば、家庭の協力、家庭との連携ですよ。やるということ、先ほど出ていたけれども、どういうふうにするのかですね。その辺を学校とよく相談してやってもらえればありがたいなと思います。それが感想です。なかなか良い結果でした。</p>
柿沼教育長	<p>ほかにありますでしょうか。 どうぞ。榎本委員。</p>
榎本委員	<p>全体的な調査で、中学2年生が全国的にも県的にも、久喜市の場合にはちょっと上がってこないということで、実際、高校受験を控えて、中2ぐらいから本格的に勉強が始まるというときに、久喜市の場合にはちょっと学力が落ちているということで、中1ぐらいまではある程度本人の能力だけで行けるとは思うのですけれども、先ほど鹿児島先生が言ったように、中2ぐらいからは、本腰を入れて勉強していかないと上がっていかないということで、先ほど家庭との協力という話もあったのですが、この辺から極端な話、勉強に関しては、塾との関連が大きく出てくるのかなと思います。</p>

審議会等会議録

発言者	会議のてん末・概要
榎本委員	<p>先ほど言った学力的に下位層、下部層の子たちも、やる気のある子とそうではない子が極端に分かれてくる学年が、確実に中学2年生というのが誰が見てもわかる話で、一生懸命上げようと思っても、わからない子たちが中学2年生ですね。だから、びっくりするぐらい分数がわからなかったり、ローマ字がわからなかったりします。極端な話、塾に行っても、こういう子たちを塾は受け入れないんですね。うちも塾やっていたからわかるんですけど、責任が取れないんですよ。だから、中学2年生の子供たちというのが迷走してしまうんですね。</p> <p>その辺を本当に先生方がわかって、たぶん、小学校4年生、5年生からやらないと、恐らく子供たちは間に合わない。ですから、その辺を先ほど言われたように家庭とがっちり連携をして、中学3年生になっても教科書を開くような子どもにしてもらえればと思いますので、その辺について一層のご努力をお願いいたします。</p>
柿沼教育長	<p>ただいま意見について、お答えありますか。</p>
参事兼指導課長	<p>こちらの全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、各学校を訪問しまして、指導主事は別に学力向上ということで、意見交換で全部の学校を今、回っています。それとは別に、私も自己評価シートに基づく面談がありまして、各学校を回らせてもらいました。</p> <p>確かに、先ほどもお話ししましたように、中学2年生、ご指摘ありましたけれども、課題があるということで各学校とも受けとめまして、まず1つは鹿児島委員さんよりお話がありました指導法について、やはり活用、Bについても今までの学習のスタイルでいいのかどうか検証する必要があります。それについてしっかり検証して改善を進めていくということとともに、今、榎本委員さんがお話しされたように、諦めてしまう子ども、生徒等もいると認識しています。</p> <p>そういう中で、学校で責任持って対応しなければいけないということで、朝の時間に、朝学習として集中的に補習をやり、また、今年から6時間授業をなくしまして5時間授業の日が何日かできましたので、その時間を使って補習的な学習をするといった、それぞれ学校によってやり方は違いますが、全国学力・学習状況調査結果がこのように出ましたので、この結果については、各学校とも真摯に受けとめて、何をしなければいけないかということで取り組んでいくということで、今、進めているところでございます。</p> <p>もちろん、先ほど話しましたように、指導主事もそれに対して各学校へ今日も訪問していますけれども、一緒に学力向上について考えていくということで、今、取り組んでいるところでございます。</p>
柿沼教育長	<p>県の学力テストは、小学校4年生から毎年やりますので、伸びが見られるんですね。今までは、県は小学校5年生だけだったので、6年生では全国と問題の違うものをやっていたのですが、今度は問題の中でも同じ問題を出すような内容でもって、4年生、5年生、6年生と段階的に上がった中で、それを見ていこうというテストに変えましたので、学校によってはそれぞれ違いはありますが、それぞれの学校が昨年よりは上がるということを前提に今、取り組むということで、別に学校間で競争するというよりは、自分の学校の中で子どもたちを伸ばしていくという考え方をしっかり持って取り組んでいます。</p>
榎本委員	<p>ゆとり教育と言われている時代の子たちというのは、今はどの世代でしょうか。</p>

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
柿沼教育長	ゆとり教育の時代の子どもたちは、平成23年から変わったわけですから、今の中学生はまだ小学校のときはゆとり教育ということになります。
榎本委員	今の小学3、4年生ぐらいまでは、逆に緩くないということですね。
柿沼教育長	そういうことですね。 ほかはよろしいでしょうか。 はい。坪井委員。
坪井委員	学力調査の関係を新聞報道などで見ますと、毎年、秋田県など上位に入っているところが決まっているのですけれども、そういうところから、まず先生方に、どんな形で教えることがいいのか、指導要領などたくさんあるようですけれども、その辺のポイントを何か入手して、学校の担当の教諭に知らせてあげるような方法とかはどうなんでしょうかね。難しいでしょうか。
柿沼教育長	参事兼指導課長。
参事兼指導課長	確かに点数、数値だけ見れば、そういうことは言えるのかもかもしれませんが、もちろんそういう上位にあるところの指導方法については、参考にできるところは参考にしなければいけないということはおっしゃいます。ただ、本市につきましても、先ほど数値でお示しましたように、秋田県ほどどうかという、比べるとまたちょっと違うかもしれないかもしれませんが、やはり、今、各学校の研究発表会が行われるところなのですけれども、それぞれの学校で子どもたちに力をつけるために取り組んでおりますので、自分たちで研究していることも大切にはしてもらいたいと思っています。 ただし、課題としまして、先ほどお話ししましたように、中学校については、まだ若干問題があると感じています。指導の仕方、授業の持ち方も、やはりこれからの学習を進めていかなければいけないということで、特に一斉講義式のような授業はほとんどやっていないのですけれども、そういった授業ではなくて、協調学習とか、お互い意見を考えて次に進めるとか、そういう形で進めていくということで、課題と捉えて取り組んでいきます。全国の優れた指導法については、今後大いに参考にしていきたいと考えております。
柿沼教育長	特に、秋田県など上位の県は、家庭学習が非常に充実しているということが、いろいろな調査ではっきりしていますね。それは、学校の先生の取り組みでもあるんですけれども、そういったことは、今後、参考にしていこうということと考えています。
柿沼教育長	ほかに何かご質問はありますか。よろしいですか。 〔「はい」と言う人あり〕
柿沼教育長	それでは、質問のほうは打ち切りたいと思います。

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
柿沼教育長	以上で教育長報告を終了いたします。
	【次回定例委員会の開催】
柿沼教育長	日程第4、次回の定例委員会開催日の案でございますが、事務局よりご説明いたします。
教育副部長兼 教育総務課長	それでは、次回の定例委員会でございますが、11月24日火曜日を予定しておりますが、いかがでしょうか。
柿沼教育長	11月24日火曜日ということですが、いかがでしょうか。
	〔「大丈夫です」と言う人あり〕
柿沼教育長	よろしくお願いします。
教育副部長兼 教育総務課長	それでは、午後1時30分から、会場につきましては菖蒲コミュニティセンターのボランティアビューローでお願いいたします。詳細につきましては、追ってこちらからご連絡させていただきます。よろしくお願ひいたします。
柿沼教育長	それでは、次回の定例委員会は、11月24日、火曜日。時間は午後1時30分から、会場は、菖蒲コミュニティセンター ボランティアビューローとさせていただきます。詳細は追って事務局からお知らせいたします。
	【閉議、閉会】
柿沼教育長	これをもちまして平成27年久喜市教育委員会第12回定例委員会を閉議、閉会といたします。 ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためここに署名する。

平成27年11月24日

教育長 柿沼 光夫

委 員 坪井喜代子

委 員 狩野 和也